

公益財団法人高知県産業振興センター

情報 ▶ プラットフォーム

2025

1月号
vol.448

【特集1】100周年 50周年企業紹介 ～輝き続ける企業の未来へ～

【特集2】企業の移転・増設特集 ～更なる企業成長に向けて～



CONTENTS

■ 新年のごあいさつ.....	1
■ 100周年 50周年企業紹介 ～輝き続ける企業の未来へ～	3
■ 羽ばたく！高知のものづくり.....	6
■ 社屋の移転・増設特集 ～更なる企業成長に向けて～	7
■ よろず支援拠点通信.....	10
■ お～い！会員さん.....	11
■ 男性育児休業取得促進事業費補助金のお知らせ	14

新年の

ごあいさつ

高知県知事 濱田 省司



新年あけましておめでとうございます。

公益財団法人高知県産業振興センターの会員の皆さまや県内企業・団体の皆さまにおかれましては、日ごろより、本県の商工業はもとより県行政の全般にわたり、ご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

知事として2期目を迎え、はや1年が経ちました。

昨年、パリで開催されたオリンピック・パラリンピックでの本県出身選手の活躍や、悲願のJリーグ昇格を決めた高知ユナイテッドSCの躍進は、県民の皆さまに夢と希望、そして大きな感動を与えました。昨年7月にオープンした大阪のアンテナショップ『SUPER LOCAL SHOPとさと』は、11月末までの4ヶ月で目標を大きく上回る約95万人にお越しいただくなど、大変好調なスタートを切りました。

一方で、長期化する物価高騰や深刻な人手不足が県民生活や県経済に影を落としています。また、足下の若年人口や出生数は依然として減少傾向が続いており、人口減少問題の克服には更なる対策強化が求められます。

こうした出来事を振り返りますと、困難な課題があっても、「諦めずに粘り強く取り組めば道は開ける」という思いを胸に、県民の皆さまとともに県勢浮揚を実現したいという決意を新たにしたい一年でした。

引き続き「共感と前進」を県政運営の基本姿勢とし、県民の皆さまとともに、「いきいきと仕事ができる高知」、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」という3つの高知県像の実現に向けて挑戦してまいります。

「いきいきと仕事ができる高知」の実現に向けては、産業振興計画に掲げる「地産外商」と「イノベーション」の2つの戦略に基づき、若者に魅力ある仕事を創出します。

「いきいきと生活ができる高知」の実現に向けては、デジタル技術を活用した学力向上や不登校への対策のほか、周産期医療体制の確保や子育て支援を充実

します。

「安全・安心な高知」の実現に向けては、今年の能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報という新たな教訓も踏まえ、一連の対策を次期「南海トラフ地震対策行動計画」に盛り込み、国の経済対策も最大限活用しながら、実現に向けて全力で取り組んでまいります。

また、県政の最重要課題である人口減少問題の克服に向けて、昨年3月に、「元気な未来創造戦略」を策定し、若者や女性に選ばれる高知を目指して取り組んでいます。

本年度は、大きく4つの方向性で施策を強化します。

1つ目は、若者の所得向上の取り組みです。非正規雇用の正規化や企業の生産性向上などを通じて若者の所得を引き上げ、結婚や子育てを後押しします。

2つ目は、移住・定住対策です。転職による県外への流出の抑制や地域への理解と愛着を深めるキャリア教育の充実などを通じて、社会増減の改善を図ります。

3つ目は、多様な出会いの機会の充実です。出生数に直結する婚姻数増加を図るため、婚活イベントや結婚を前提としない多様な交流機会を拡充します。

4つ目は、「共働き・共育て」の更なる推進です。その原動力となる男性育休の取得を促進するため、両親学級の開催支援や職場や地域への周知啓発などを通じて、県民運動の取り組みを一層拡大します。

今年はいよいよ大阪・関西万博が開催され、連続テレビ小説「あんぱん」の放送がスタートします。この絶好の機会を生かし、インバウンドを含む観光誘客などにより県経済の活力を高めます。

活力にあふれる高知、安心して暮らせる高知の実現に向けて、更に前進する年にしたいと考えていますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

公益財団法人
高知県産業振興センター
理事長 土居 秀臣



令和7年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。昨年は、当センターの事業運営にあたり多くの皆さまにご理解とご協力を賜りましたことに心より御礼を申し上げます。

改めて昨年を振り返りますと、1月1日の能登半島地震に始まり、8月の日向灘沖の地震に端を発して初の南海トラフ地震臨時情報が発せられるなど、高知県にとっては来るべき大地震に対して緊張感の高まる1年となりました。政治的には10月の衆議院選挙、11月の米大統領選挙と続き、金融市場の動向やアメリカの保護主義的な政策による輸出への影響など日本経済を取り巻く不確実性は依然として高く、今後の経済動向に注視が必要です。また、県内経済にとりましても、資材・物価の高騰や、人手不足などの課題が常態化しており、企業の皆様におかれましては、様々な工夫や努力に取り組まれていることと拝察申し上げます。

そうした中、令和6年度からスタートした第5期高知県産業振興計画において「デジタル化」「グリーン化」「グローバル化」の視点で施策を絶えず更新していくことが示され、当センターも高知県と連携して、様々な施策に取り組んでまいりました。

「デジタル化」の視点では、各企業の皆様の課題に応じた「デジタル化計画」の策定と、その実行支援策として令和5年度に引き続き「デジタル技術活用促進事業費補助金」を実施したほか、会社全体の経営課題をデジタル化によって解決していくための「企業ごとの支援チーム」を新たに編成するなど、さらなるデジタル化に向けた支援を強化してまいりました。当センターの伴走支援型サポートのもとデジタル化に取り組んだ結果、業務の効率化、働き方改革などにつながった事例はセンターホームページに掲載しておりますので、ぜひご一読ください。

次に「グローバル化」では、引き続きタイ・ベトナムに「現地サポートデスク」を配置したことに加え、高知県が

新たに台湾・インドに配置したアドバイザーと連携し、現地から手厚いサポートを推し進めてまいりました。また、オンライン商談会を開催し、より関心の高い商談についてはその後の現地での商談を支援するなど、成約に向けた支援の強化や、オンライン商談をきっかけに新たに海外展開にチャレンジする企業の裾野の拡大を目指して取り組みました。今年も皆さまの海外展開、外商支援を強力に進めてまいります。

昨年11月に開催しました「ものメッセKOCHI2024」では、出展企業117社、全国からの招聘企業130社、タイ、台湾など海外からのお客様もお招きし、活発な商談を実施することができました。合わせて本県の喫緊の課題であります人口減少対策の一環として、魅力ある職場としての県内企業を多くの児童・生徒・学生の皆さまに知っていただくことを目的に、体験イベントや工場視察を拡充し、39校、3,200名に会場いただきました。今年も販路拡大・リクルートの両面から「ものメッセ」を大いに活用いただきたいと思います。

また、「外商の加速化」の取組として、大阪営業本部に新たに土木・工法の専門家を配置し、防災関連認定製品の工法分野の外商支援の強化を進めました。今年さらには営業範囲を拡大し、「防災先進県高知」の工法の各自治体への採用を目標に活動してまいります。

本年の干支は巳年です。脱皮するへびは、再生と不死身のシンボルでもあります。本年が皆さまにとって新しい変化や成長の契機となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

100周年 50周年 企業紹介

～輝き続ける企業の未来へ～

今月号では、めでたく100周年、50周年を迎え、様々な危機を乗り越え発展し続けてきた県

株式会社 オサキ

代表取締役社長

尾崎 典之 氏(中央)

代表取締役専務

尾崎 元章 氏(右)

相談役

尾崎 元晴 氏(左)



❶100周年を迎えられた

今のお気持ちを聞かせてください

1925年の創業から100年。この間、幾度となく厳しい時期を経験しましたが、お取引先をはじめ、多くの皆さまにご支援いただいたお陰で、何とか今日まで来ることができました。今後も皆さまに必要とされ、常に新しい提案と創造ができる会社であり続けることが当社の願いです。100年の歴史と、ご支援に感謝するとともに、創業者から受け継いできた「誠実」に徹し、地域社会に貢献してまいります。

❷創業の経緯について聞かせてください

当社は、米穀商を営む尾崎元美商店として創業しました。創業者の尾崎元美は、父親が経営する尾崎製紙工場を手伝っていましたが、この工場を兄たちが相続したことをきっかけに分家し、当時関係があった山内家の勧めで開業したことが当社の始まりです。元美の母親は山内家の乳母を、また、元美自身も御傅役(おもりやく)として勤めていたご縁から御屋敷に納めるお米を取り扱うようになりました。そのお米を仕入れる農家から脱穀用のコインベルトの調達を依頼され引き受けます。しかし、当時新品のコインベルトは割高だったため、考えた元美は中古のコンベヤベルトを改造し安価で提供して大変喜ばれたそうです。

その後、お米、ベルト以外にも軸受メタル、伝導品と商いの幅を広げていきましたが、昭和9年に閑院宮載仁親王が来高された際には御用米の栄を賜りました。また、昭和12年の南国土佐大博覧会には、“理想的減速装置”を製造・出展し、徐々に現業へとシフトしていきます。これが当社の前身です。



▲創業者(中央)



▲理想的減速装置

えられた企業をご紹介します。高度経済成長期からバブル崩壊、リーマンショック、近年の新型コロナウイルスなど、内企業へ取材し、これまでを振り返ってのエピソードや、今後の抱負などをお聞きました。

現在は、産業機器全般を取り扱う商社として、国内のみならずベトナム、インド、東南アジアへの輸出をはじめ、中国及びタイには現地法人を設立するなど、海外展開にも積極的に取り組んでいます。

◎100年を振り返って、苦労した出来事や印象深いエピソードなどがあれば教えてください

ここに至るまで、決して順風満帆だったとは言えません。現状からは想像がつかないほど、経営が厳しい時期もありました。特に、敗戦後は不良債権が頻発し、倒産の危機に見舞われこともあります。グループ会社のパルプ工場を売却するなど、何とか危機を乗り越えたものの、その後も紆余曲折でした。地震、台風などによる自然災害も今以上に多かったような気がします。特に、1975年の台風5号、1976年の台風17号では、高知市内の河川が氾濫し、当社も立て続けに甚大な被害を受けました。社屋は浸水、商品、車両、台帳や過去の資料等、多くの資産が流出、一か月余り休業を余儀なくされたことを覚えています。

このような苦い経験談だけではなく良かったこともエピソードとしては数えきれないほどありますが、どれも困難を乗り越えたからこそ振り返ることができる歴史で感慨も一入です。

◎今後に向けた抱負を教えてください

当社は産業機器全般を取り扱っていますが、デジタル化、省力化に見られるように社会全体が目まぐるしく変化していくなか、現状のままの業態を続けていくことは難しいと考えています。ECサイトなど販売手法も多様化し、今後の方向性を考える転換期に差し掛かっていることから、当社としてもあらゆる可能性を模索しているところです。

そのひとつとして、現在行っている搬送・伝導ベルトや高圧ホースの加工に加え、外注している産業機械の修理やメンテナンスを自社で対応できればと考えています。また、新しい取り組みとしては、県内企業とタッグを組み、商品開発から製造まで全て高知県内で行う「高知発」の製品を地産外商できないかと検討しています。

高知県は、全国の中でも製造業の比率が低く、工業出荷額も下位に甘んじていますが、独自の技術力で頑張っている企業は多数あります。当社としてはそんな企業のお力になれるよう、これまで以上に精進してまいります。



◀ 移転した頃の社屋 (1948年)



▲ 会社法人に変更した頃の社屋 (1951年)



現在の社屋▲

----- 会社概要 -----

株式会社オサキ

事業内容 伝導用品、産業機器・設備等の販売・加工・施工

住 所：高知市神田647-1
TEL：088-833-0171





株式会社 ヤセック高知

代表取締役社長
奥田 一弘 氏

④50周年を迎えられた今のお気持ちを聞かせてください

当社は「小型モーター」を主力製品として、1975年6月に創業しました。その後時代の移り変わりとともに、「注油器」や「排気弁研削盤」といった国内シェアナンバーワンの製品を製造し、領域を広げてきました。この度50周年を迎えることができたのは、諸先輩方、地域の皆さま、関係機関の皆さまの支えのおかげであり、また何より、製品を長らくご愛顧くださっているお客様のおかげであると、感謝の気持ちでいっぱいです。

④50年を振り返って、印象深いエピソード、出来事などがあれば教えてください

私が親会社の「山科精器株式会社」に入社した30年前に、当社との関わりが始まりました。創業当時、早明浦ダムの旧工事事務所を借り受けて事業をスタートしていたため、30年前には既に老朽化が進んでいました。職場環境が良いと言えたものではありませんでしたが、従業員の皆さんが笑顔で迎え入れてくれました。頑張って作業をされていた姿が印象に残っています。

その後、外部環境の影響を受け厳しい時期もありましたが、2012年に思い切って新工場を竣工しました。その結果、強みである中形の機械製品製造の経営基盤ができただけでなく、作業環境が格段に向上し新たなメンバーもたくさん迎え入れることができたので、良かったと思っています。

④今後に向けた抱負を教えてください

地域に根ざしたものづくり企業として、働きたい会社ナンバーワンを目指しています。昨今は人材不足が加速的に深刻化していますので、ヤセック高知で働きたいと思ってもらえるような魅力のある会社づくりが重要です。

当社では、顧客の創造という考え方を意識し、お客様のニーズに寄り添った製品づくりを行っています。長年培ってきた機械製品の組立から検査までのワンストップ対応という当社の強みを活かし、今後とも顧客満足度向上に努めていきます。

ヤセック高知に任せて良かったとお客様に思っただけは、当社のためだけでなく、地域への貢献でもあると考えています。地域や世の中になくはない存在であり続けるため、今後とも成長を続けてまいります。



▲創業者



▲主力製品



▲高知工場開設時



▲社屋

----- 会社概要 -----

株式会社ヤセック高知

事業内容 陸用および船舶機関向け潤滑機器の製造、専用工作機械の製造、各種機械加工

住 所：土佐郡土佐町田井979
TEL：0887-82-0990



見本市への出展及び防災関連製品のミニ展示商談会を開催しました

東京営業本部 外商コーディネーター 齋藤 仁一

危機管理産業展(RISCON TOKYO)2024

東京ビッグサイト：10/9～11 総来場者数：19,356名

企業名 (五十音順)	主な出展品
アクアデザインシステム株式会社	逆浸透膜浄水装置
株式会社エスエス	簡易トイレ用凝固剤
株式会社オサシ・テクノス	斜面監視システム
有限会社四国浄管	災害トイレ地下貯留槽
株式会社島産業	LEDソーラー防犯灯
高階救命器具株式会社 高知工場	シルトフェンス
株式会社タケナカダンボール	ダンボールベッド、間仕切り
有限会社土佐通信	LEDガードパイプ一体誘導灯
株式会社マシュール	間仕切り・10年保存備蓄用肌着
有限会社丸英製紙	10年保証長尺トイレットペーパー
有限会社吉村デンソー	ノーフレーム軽量防災用担架

防災、BCP・事業リスク、防犯・セキュリティなど、あらゆるリスクに対処する製品・技術・サービスを展示する「危機管理産業展」に11社が出展しました。防災先進県である高知県の知名度も高まり、多くの自治体・公共機関や防災製品を扱う商社が来場し、県内企業との商談が活発に行われました。また、県内企業各社では新たな製品開発や改良のためにお客様ニーズや市場動向の把握に努められています。



第14回農業資材EXPO

幕張メッセ：10/9～11 総来場者数：35,921名

企業名 (五十音順)	主な出展品
井上石灰工業株式会社	ICボルドー液
兼松エンジニアリング株式会社	マイクロ波抽出装置
株式会社KINP	スズメバチサラバ
株式会社土佐テック	木質ペレット製造機
株式会社土佐農機	小型電動噴霧器
有限会社戸田商行	もくめん

最新の施設園芸、農業機械、肥料・土壌改良材、農薬、包装・物流製品、鳥獣害対策資材などのメーカーが一堂に会する「農業資材EXPO」には6社が出展しました。会期中には、農家、農業法人、農協、自治体の農業普及関係者、さらには海外の農業関係者も多数ブースを訪れ、県内企業との活発な商談が行われました。高知県企業の知名度は高く、作付作物ごとに具体的なアドバイスを求められるなど、お客様満足度の高い商談が展開されました。



ミニ展示商談会「防災関連製品」

第一ホテル東京：10/30

企業名 (五十音順)	主な出展品
アクアデザインシステム株式会社	災害用逆浸透膜浄水装置
株式会社エスエス	フォレタブル・トイレ用凝固剤
有限会社四国浄管	災害トイレ2Ways大地くん
関田野出株式会社	RESCUE REQUEST情報伝達シート
有限会社丸英製紙	10年保証備蓄用トイレットペーパー
有限会社吉村デンソー	イージーストレッチャー防災用担架

「危機管理産業展2024」に出展した企業を中心に、県内企業6社が出展し、ミニ展示商談会を開催しました。当日は見本市来場者に加え、出展企業の取引先や、東京営業本部が接点を持つユーザー企業や商社を中心に招聘し、48社・62名が来場、42件の商談が行われ、28件の見積依頼をいただきました。

来場者からは、「落ち着いた雰囲気の中で参加企業各社の丁寧な説明を聞くことができ、有意義な商談が行えた」と好評をいただきました。出展企業からも、東京営業本部の招客や商談時の同席フォローも有益であったとお聞きしており、次回以降もミニ展示商談会に参加したいとの声が多く寄せられました。



東京営業本部では、首都圏において見本市等でのフォローやミニ展示商談会の開催といった外商支援活動を通じ、県内企業の販路拡大を引き続き支援してまいります。

外商に関するお問い合わせ

東京営業本部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3
内幸町ダイビル8F
TEL：03-6452-8830
FAX：03-6452-8831

大阪営業本部

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-6-8
センバセントラルビル1F 高知県大阪事務所内
TEL：06-4708-3398
FAX：06-6244-7933

大阪営業本部 (名古屋駐在所)

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1
中日ビル5階 503号室
TEL：052-684-4904
FAX：052-684-4906



社屋の移転・増設特集

～更なる企業成長に向けて～

企業が事業活動を行うにあたり、拠点となる持ちも新たに取り組みされている企業3社をご紹介

理工エンジニアリング株式会社

南国市に新工場を建設。2024年4月に移転。



代表取締役 有光 功 氏

会社概要（事業概要）について教えてください

水産加工機械、食肉加工機械、産業機械などの設計・開発・製造・販売・メンテナンスまでを一貫して行っています。主な製品は、フィレマシン、刺身スライサー、ウロコ取り機などです。2024年4月1日より、南国市の新工場へ移転しました。

工場の移転を決めたきっかけは何ですか？

この度、南海トラフ巨大地震が近い将来高い確率で発生するとの予測を受け、BCP(事業継続計画)と従業員の安心・安全を考えた結果、旧工場が津波被害警戒区域に入っていることから、より安全な立地への移転を決断しました。新工場は自然災害に強い環境に加え、当社の製品輸送や県内外への出張など南国ICを利用することが非常に多く、利便性の高さが大きな決め手となりました。



移転により設備や生産体制にはどのような変化がありましたか？

新工場では、旧工場に比べて面積を大幅に拡張しました。この広さを活かし、作業スペースを一体化したことで、生産ラインの動線が短縮され、作業効率が飛躍的に向上しました。また旧工場では、組み立てや調整作業が敷地内の複数の建物に分散されていたため、作業の移動に時間がかかっていましたが、今では各工程がひとつの空間で完結するため、無駄のない生産体制を実現できています。さらに、新工場にはデモンストレーション室も新たに完備しました。これにより、実際にお客様に機械の動作を見ていただくことができ、製品の魅力を直接お伝えできる機会が増えています。

今後、新工場のどのような活用をお考えですか？

今後は、従業員の積極的な採用を通じて生産量を増やし、広くなったスペースを活かしながら、新製品開発や多様な製品ラインに対応できる体制を整えていく方針です。また、新工場にはリラックスできる休憩スペースを設けたことで、従業員同士のコミュニケーションが活発になり、職場環境や衛生面も大きく改善されました。これにより、働きやすさと安心感を備えた職場として、従業員の満足度を高め、新たな人材の採用にもつなげていきたいと考えています。また、将来的には第2工場の設立も視野に入れており、さらなる事業拡大と成長を目指します。これからも「お客様の心に寄り添う“こだわり”のモノづくり」を大切に、価値ある製品をお届けし続けてまいります。



住 所 南国市植野131番地

T E L 088-855-9931



▲HP

社屋や工場は業績にも影響をもたらす重要な要素です。今月号では、工場の移転や社屋の増設などを行い、紹介します。

ウッドテクノス株式会社

新たに開発した木造ビル“コレモク”の第一号として新事務所を建設。2024年6月に完成。



ウッドテクノス株式会社
代表取締役 **三木 康弘氏** (左)

Reegle株式会社 (コレモクの開発担当)
代表取締役 **北添 幸誠氏** (右)

会社概要 (事業概要) について教えてください

当社は木材の製材・加工・販売を行う会社です。創業当初は住宅用の木材を中心に取り扱っていましたが、人口減少などの影響で住宅着工数が減少していることから、非住宅の分野を始めるきっかけとして、集成材の製造・加工を始めました。現在は木材のプレカット加工や、住宅用だけでなく公共施設などに使用する集成材の製造も行っています。

木造ビル“コレモク”についてお聞かせください

高知県では県産の木材の活用についての方針を定めており、積極的に推進しています。“コレモク”は県との共同で開発した高知モデルの木造ビルで、「コレからのモク造建築」として県産木材を消費・普及することを目的に命名しました。その第一号を当社の新事務所として建設しましたが、モデルビルとしても活用しており、取材や見学に多くの人々がお越しくださっています。



このコレモクは従来の木造ビルとどのような違いがありますか？

鉄骨などではよく使われているものの、木造ではこれまで使われていなかった“ラーメン工法”を採用しています。この工法は外側のフレームだけで建物を支えるため、部屋の内部に柱や壁が必要ないのが大きな特徴です。空間を自由に活用できるため、住居よりも事務所や店舗に適した工法です。

木材を活用することは、林業の活性化だけでなく、脱炭素社会への貢献にもつながります。木材は建築時に排出されるCO²が鉄骨や鉄筋コンクリートに比べて大幅に少なく、また、炭素固定効果があります。CO²の削減に役立つ木材は、近年需要が高まっている建築資材です。

今後、コレモクをどのように普及していきますか？

コレモクは、建物のサイズや構造を規格化し、高知県産木材とセットでパッケージ化しています。これまでの木造建築では注文が入ってから構造計算を行い部材を探すので、見積りを出すまでにかなり時間がかかるのですが、構造を規格化することでそれを解消できます。コンクリートなどの建物と同程度の時間で見積りを出すことができ、従来の木造建築よりも短時間で建設できるコレモクがあれば、木造ビルをより普及させることができると考えています。今後は展示会への参加なども行い、コレモクの普及・推進に努めていきます。



ウッドテクノス(株)	住 所	高知市仁井田朝日ヶ丘4670番地	
	T E L	088-847-0211	
Reegle(株)	住 所	高知市鴨部1丁目19-35 中央青果市場内	▲HP
	T E L	088-855-3757	

有限会社 サーマル工房

既存の工場に隣接した新工場を増設。



代表取締役 谷村 正樹 氏(左)
谷村 咲子 氏(右)

会社概要（事業概要）について教えてください

可動模型やジオラマなどの製造を主に行っており、アイデアから設計まで自社で対応できる国内でも珍しい会社です。近年は、物流用ドローンの開発をはじめ、民間企業の無人飛行機や「空飛ぶクルマ」の試作品なども受注しています。

工場の移転を決めたきっかけは何ですか？

航空機や公共施設のジオラマなど、大型物の製造が増えたことで工場が手狭となり、作業効率が悪くなっていたこともあり、かねてより増設を検討していました。また、創業から30年以上が経ち、社屋の老朽化対策や、これから新たな人材を雇用し育てていくことを検討する中で、対外的なイメージアップを図りたいという思いもあり、工場のリニューアルを決めました。



増設により設備や生産体制にはどのような変化がありましたか？

工場の拡充で作業スペースが増えたことに加え、レーザー加工機や3Dプリンタを増設したことで全体のリードタイムが大幅に短縮できています。これまでは、1つ案件を受注すると、それが完成するまで他の仕事に着手できませんでしたが、増設後は同時に3～4案件をこなすことが可能になったため、これまでと同じ人員体制で、より大きな売上に繋げることができるようになりました。

また、10月から旧工場に塗装ブースを新たに設置したことで、大型案件では自社対応していなかった塗装工程を内製化できるようになり、受注できる仕事の幅が広がったことも大きな変化です。

今後、新工場のどのような活用をお考えですか？

当社は大量生産が困難な業態であり、これまではスポットでの注文を多く受けていましたが、今後、塗装部門を新たに立ち上げることで、リピートオーダーに繋がる安定的な受注販路の獲得を目指していきます。また、増設をきっかけに、制作中の実物を見ながら図面を広げて打ち合わせなどができるスペースを整備したことで、より密な商談に繋がるだけでなく、直接当社にお越しただくお客様が増えるといった嬉しい変化もありました。

ドローンや航空機の受注が増える中で、今後は設計や研究開発ができる人材の確保と育成が課題になってきますので、学生をはじめ、当社に興味を持ってもらった方に対して、更に現場を知ってもらうためのツールとしても新工場を活用していければと考えています。



住 所 高知市六泉寺町167

T E L 088-833-8039



▲HP



経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆さまの売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

相談事例の紹介

人気のフラワーショップ、SNS改善で売上アップ
～InstagramとGoogleマップ改善でお客様を店舗へ誘導～

担当コーディネーター

関 勇貴

01 相談のきっかけ



高知市のフラワーショップ「Soto」は、Instagramフォロワー数6,000人以上を誇る人気店です。美しいフラワーアレンジメントと絵本のような世界観が魅力で、多くのファンを獲得しています。

しかし、「Instagramを見たお客様が実際に来店されるケースが少ない」という課題を抱え、よろず支援拠点にご相談にいられました。

02 現状分析と課題把握



始めに、現状を把握するため事業者のInstagramのアカウントを確認しました。一番大きな課題は「花屋」の明記がなく、何のアカウントなのか、実店舗があるお店なのか、分かりにくいという点が課題でした。

そこで、実店舗の存在を伝えつつお店の特徴や雰囲気、世界観を発信し、ご来店やお問合せにつなげる解決策が必要と考えました。

03 解決策と提案の実施



①Instagramのプロフィール変更を提案

- ・検索でヒットさせるため表示名を「Soto」から「Soto | 高知のお花屋さん」に変更
- ・お店の雰囲気と世界観が伝わるようにキャッチコピーとコンセプトを記載
- ・お店の概要を知ってもらうため、サービス内容と営業時間、場所を明記

②Googleマップの情報整理を提案

- ・Googleマップの不足情報をすべて入力し、オーナー提供の写真を掲載

04 支援の成果



解決策を実施して以降、電話からのお問合せが倍増し、電話による注文の他、来店するお客様の数も増加しました。

また、SNSなどのインターネット上に掲載しているお店の情報量を増やしたことから、これまでに問い合わせの多かった営業時間や場所など、お店の概要に関する電話は減少しました。その分、営業に専念する時間を増やすことができました。



相談者の
声

SNSについての相談でしたが、相談したい内容すらぼんやりとした状態でのスタートでした。

まずは困り事をまとめることから始まり、思いやりをもって根気よく教えていただきました。今ではお客様からのオーダーも増え、とても嬉しい毎日です。相談に伺って本当によかったです。本当にありがとうございました！



Soto

代表者 加川 真千子

住 所 高知市南久保10-39北側



お問い合わせ・ご相談予約 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

住 所 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

MAIL yorozu@yorozu-kochi.go.jp

TEL 088-846-0175

対応時間 8:30～17:15(土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索





お〜い! 会員さん



株式会社高橋組

会社概要

当社は1930年の創業以来、総合建設会社として造成工事のほか、道路、橋梁、護岸、公園など高知県・越知町の公共工事に携わってきました。昨年からは高知市に建築部門も開設し、より幅広い事業展開を行っています。

会社や商品の特徴や強み

当社は創業100年を前に、一緒に働く従業員のワークライフバランスの向上に取り組んでいます。2023年4月から週休二日制を導入し、有休休暇の平均取得率は7割を超え、概ね定時退社ができています。

現在では、育児や介護などについてもアンケートを実施し、従業員の状況把握とニーズに寄り添えるよう取り組んでいます。

今後の展開

引き続き従業員のワークライフバランス向上を推進し、人への投資に力を入れていきます。より良い労働環境を整備し、「人材は宝である」という思いを忘れず、地域からも愛され必要とされる、より良い企業をこれからも目指していきます。



連絡先

代表者：代表取締役 高橋 佳久
住所：高知市日の出町2番12号
TEL：088-821-9509



▲Instagram

株式会社ナンカイ冷熱設備

会社概要

当社は1969年に冷凍冷蔵設備の販売施工を行う会社として創業しました。現在は極低温(-60~-40℃)の2元冷凍装置、無風冷凍庫、製氷設備を販売しています。また、生鮮食品の加工卸売会社・量販店・小売店などに対して、冷温設備のご提案、販売、施工、メンテナンス事業なども行っています。

会社や商品の特徴や強み

創業者から引き継いだシャーベット氷製造・貯氷・輸送システム及び貯氷庫設備の研究を完了し、現在は割氷の製造・貯氷・自動販売施設にて試験を継続しています。

また、魚類・青果・生花などの鮮度や温度、湿度が重要な商品のために、設備の企画・設計・施工後のメンテナンスを行っており、お取引会社様からは大変喜んでいただいています。

その他、管工事業界の技術力向上のため技能講習会や高知県の防災対策訓練に協力するなど、地域貢献にも励んでいます。

今後の展開

当社では、「人にやさしく・地球にやさしい」をキャッチフレーズとしており、高知県のフロン専門家派遣事業にも参加しています。世界規模で課題となっている地球温暖化の防止対策に貢献できるよう、真剣に取り組んでいます。



連絡先

代表者：代表取締役 大前 博史
住所：高知市弘化台14番33号
TEL：088-883-0585



▲HP

賛助会員の皆様をご紹介します！



株式会社オフコム

会社概要

当社は創業より51年間、地域のお客様のオフィス環境を整えるべく、オフィス家具・複合機・IT機器の販売とサポートを行っています。お客様の事業や規模に応じて、最適なオフィスレイアウトやIT環境構築をご提案させていただきます。



会社や商品の特徴や強み

最適なご提案をするには、十分な現場調査と分析、綿密なヒアリングが不可欠であり、保守点検・修理といったアフターフォローも重要です。当社の強みは、これらを一貫して行える「社内完結のワンストップソリューション」です。「オフコムさんに任せて良かった」と納得していただけるよう、全ての部署が手を取り合い、お客様のニーズの実現に全力で取り組んでいます。



自社の職場環境作りにも意欲的に取り組んでおり、電子マネーによる「ランチ補助」の実施や、子育てや介護等の支援制度を充実させています。

今後の展開

お客様のニーズや外部環境変化の先を行くサポート体制・営業スタイルを構築し、高知の市場におけるトップランナーを目指します。ニューノーマル時代の先駆けとなるような、オフィスソリューションの提案・実現に邁進していきます。

連絡先

代表者：代表取締役社長 松岡 良展
住所：高知市高須3-2-45
TEL：088-884-1266



▲HP

株式会社日東商事

会社概要

当社は、1964年に建物管理・清掃用品、清掃機械の販売を主として創業しました。その後、お客様のニーズもあり、清掃業務を開始。総合ビルメンテナンス業として、設備管理、環境衛生管理、施設警備、受付案内業務など幅広く事業を展開しています。



会社や商品の特徴や強み

官公庁やオフィスビル・金融機関・ホテル・病院・学校・大型商業施設等からの受注があり、あらゆる顧客ニーズに対応するため、さまざまな分野において、専門的な知識を持つ資格取得者が多数所属していることが当社の強みです。資格取得に関するバックアップも手厚く、これまでは男性ばかりであった高所ガラス清掃に女性がチャレンジするなど、活躍の場を広げています。時代の変化や多様化するお客様のご要望に誠実に取り組み、建物総合管理を軸に、快適な環境を提供していきます。



今後の展開

日東商事グループとしては、県立牧野植物園でミュージアムショップを2店舗、高知県庁前にてカフェ「Konoha」を経営しています。ビルメンテナンス業務を軸に、更に新事業の展開でも高知県の観光や発展に寄与できるよう、それぞれの役割で貢献していきます。

連絡先

代表者：代表取締役社長 山崎 真人
住所：高知市本町4丁目2番52号
TEL：088-822-7571



▲HP

賛助会員 & 広告募集

当センターでは、賛助会員の皆さまに様々なサービスを企画し、役立つ情報を提供しています。

ぜひご利用いただき、経営の向上にお役立てください。

年会費は1口1万円で企業・団体・個人等どなたでもご入会いただけます。また有料広告の掲載についても随時募集しております。



賛助会員の皆さまにご利用いただける主なサービス

企業情報検索

お取引先の企業情報の検索サービスを行っています。賛助会員以外の方には1件につき2,000円をご負担いただきますが、会員の方は年会費1口につき5件まで無料でご利用いただけます。

※東京商工リサーチおよび（公財）高知県産業振興センターは、企業情報の使用により、いかなる損害が生じたとしても対価の減額、損害賠償、その他一切の責任は負いません。

DVDの貸出

生産、品質管理、社員教育やビジネススキルなどの課題解決に役立つDVD教材などを無料でご利用いただけます。

産業振興センターで貸出中のDVD一覧を載せていますので、こちらのQRコードからぜひチェックしてみてください。

貸出中のDVD一覧



<https://joho-kochi.or.jp/center/dvd.php>

施設利用料金の割引 **20%off**

高知おばさんセンター（大ホール除く）の会議室等のご利用料金について割引制度をご利用いただけます。

**少人数(数名)で利用できる小規模な会場から、
大人数(100名以上)に対応した大規模な会場まであります！**

「情報プラットフォーム」有料広告欄の費用を割引

県内企業や関係機関など多くの読者にPRしてみませんか？
〈通常〉裏表紙A4 1頁(県内・原版あり) ¥40,000

⇒ 《賛助会員》なら **¥20,000**

月刊情報誌

「情報プラットフォーム」の無料配布

毎月1回1500部発行。
県内外の賛助会員、金融機関、
商工団体等へ配布しています。

お問い合わせ (公財) 高知県産業振興センター賛助会員担当

TEL 088-845-6600 FAX 088-846-2556

男性育児休業取得促進事業費補助金のお知らせ

男性労働者の育児休業に係る業務の引継ぎのための代替要員の確保（派遣を含む）を支援します。

- ・補助対象期間は、育児休業期間の前後の引継ぎ等のための雇用期間(最大2か月)です。
- ・連続する1か月以上の育児休業に係る引継ぎ期間が対象です。
- ・新規雇用による代替要員の確保(派遣を含む)が対象です。
- ・**育児休業取得者Aの業務をBが代替し、Bの業務代替者として新たにCを確保した場合(いわゆる「玉突き」)も対象です。**

★代替要員が未定の場合★

代替要員の希望を当課ホームページに掲載できます。掲載された希望情報は人材派遣会社等が閲覧し、直接事業者様へ人材の紹介を打診いただける仕組みとなっております。
※人材確保をお約束するものではありません。

例えば…

営業のAさんが育児休業に入り、総務のBさんが業務を代替することとなったため、総務の代替要員として新たにCさんを雇用する場合、Cさんは当補助金の対象です

補助内容



1人あたり/月（※最大2か月）

10万円

1事業所あたり上限

100万円

イメージ図



県が補助します！

育児休業期間中の代替要員については、国が実施している**両立支援等助成金（育休中等業務代替支援コース）**をご活用いただける場合があります。

詳しくはこちら →

●お問い合わせ先
高知労働局雇用環境・均等室
(088-885-6041)



高知県子育て支援課ホームページ
令和6年度高知県男性育児休業
取得促進事業費補助金



お問い合わせ先

高知県子ども・福祉政策部 子育て支援課
電話：(088)823-9641

※課内電話混雑回避のため、原則右記の電子申請によるお問い合わせフォームをご活用ください

電子申請お問い合わせフォームはこちら

※電子申請フォームトップから様式名称「令和6年度高知県男性育児休業促進事業費補助金お問い合わせ」で検索も可能です



schedule

1月～2月 行事予定表

行事予定表

区分	日時	名称	場所	QRコード
セミナー	1月15日(水) 13:30～16:30	IT・インターネット活用セミナー(1) ChatGPTはこう使う！ 売上を高めるWebコンテンツ制作の極意	ちばさんセンター2階 研修室1	
	2月5日(水) 13:30～16:30	IT・インターネット活用セミナー(2) 4児の母が好きなことを仕事にして 売り上げ2.5億になった話	ちばさんセンター2階 研修室1	
	2月10日(月) セミナー・工場見学 交流会	10:00～14:30 18:30～20:30	経営資源を活かす！ 視点を変えて取り組むマーケティングセミナー	高知県立ふくし交流プラザ 研修室D 【工場見学】 有限会社佐竹製麺 有限会社戸田商行
よろず支援拠点開催少人数セミナー(定員7名)	1月22日(水) 10:00～11:30	仕事に活かす初めての生成AI講座 AIライティング ～使いこなす3つのコツ～	ちばさんセンター1階 商談室2	
	1月23日(木) 10:00～11:30	リピーター獲得セミナー		
	1月27日(月) 10:00～11:30	お客様の心に響く「キャッチコピーの作り方」セミナー		
	1月29日(水)/2月26日(水) 10:00～11:30	簡単スタート!Instagram入門講座 投稿&リール攻略編		
	1月29日(水)/2月27日(木) 14:30～16:00	歓送迎会対策 客単価upセミナー		
	2月6日(木) 10:00～11:30	新年度客を捕まえろ！ 新規集客セミナー		
	2月10日(月) 10:00～11:30	どこだ！損益の分岐点！ 利益確保のための損益分岐点分析の基礎セミナー		
	2月17日(月) 10:00～11:30	お客様の心をつかむPOPデザイン		
	2月17日(月) 13:30～15:00	「売上と利益の管理」の基礎セミナー		

参加費:無料

セミナーなどは事前に申込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、
高知県産業振興センター（088-845-6600）までお問い合わせください。